

【8月31日 差替え版】

注3

**大学番号：私207**

[平成28年度設置]

計画の区分：学部<sup>注1</sup>の学科の設置

注1

**届出**

大阪成蹊大学 マネジメント学部 スポーツマネジメント学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 大阪成蹊学園  
平成29年5月1日現在

作成担当者

経営企画本部

クイエイキカク ホンブチョウ ミヤチ シグキ  
経営企画本部長 宮地 茂樹

電話番号 06-6829-2620

(夜間) 06-6829-2620

F A X 06-6829-2802

e-mail ksh@osaka-seikei.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に  
( ) 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## マネジメント学部

＜スポーツマネジメント学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	15
6. 留意事項等に対する履行状況等	23
7. その他全般的事項	24

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 大阪成蹊学園

## (2) 大学名

大阪成蹊大学

## (3) 大学の位置

〒533-0007

大阪府大阪市東淀川区相川3丁目10番62号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イシガキ) 石井 茂 (平成25年4月)		
学長	(ムサシノマコト) 武蔵野 實 (平成25年4月)		
学部長	(スギハラミツシ) 杉原 充志 (平成28年4月)	(ウニカタタカシ) 國方 太司 (平成28年10月)	平成28年10月 辞任のため(29)
学科長等	(ウエダシンジ) 植田 真司 (平成28年4月)	(ミズノトシキ) 水野 利昭 (平成29年4月)	平成29年4月 健康上の理由のため(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
マネジメント学部 スポーツマネジメント学科 学士(経営学)	経済学関係	4年	90人	- 年次人	360人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	90人 ( - ) [ 4 ]	-人	90人 ( - ) [ 3 ]	-人	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	1.22倍	
志願者数	247 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	317 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
受験者数	241 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	315 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
合格者数	133 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	122 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
B 入学者数	109 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	111 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.21		1.23							

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] ( - ) 109	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) 111	[ - ] ( - ) -	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ - ] ( - ) 104	[ - ] ( - ) -	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次			/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
4年次	/						/		/		[ ] ( )
計			[ - ] ( - ) 109	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) 215	[ - ] ( - ) -					[ ] ( )

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	109 人	5 人	平成28年度	5 人	0 人		4.58 %
			平成29年度	- 人	- 人		
			平成30年度	- 人	- 人		
			平成31年度	- 人	- 人		
平成29年度 入学者	111 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0 %
			平成30年度	- 人	- 人		
			平成31年度	- 人	- 人		
平成30年度 入学者	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人		- %
			平成31年度	- 人	- 人		
平成31年度 入学者	- 人	- 人	平成31年度	- 人	- 人		- %
合 計	220 人	5 人					2.27 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<マネジメント学部 スポーツマネジメント学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
大学 共通科目	基 礎 大 学 講 入 座 門	大学での学びとキャリアを考える	1前	2				1	1 2	2			兼3 複数教員配置による担当者調整、授業運営上の理由による担当者追加 (28)	
	日 本 語 表 現	日本語コミュニケーション1	1前	2									兼5 兼3 授業運営上の理由による担当者追加 (28)	
		日本語コミュニケーション2	1後	2									兼4 兼2 授業運営上の理由による担当者追加 (28)	
	処 理 報	情報リテラシー1	1前	2									兼3	
		情報リテラシー2	1後	2									兼3	
	共 通 基 礎 科 目	外 国 語	英語基礎1	未開講 1・2前		2								兼1 授業運営上の理由により未開講 (29)
			英語基礎2	未開講 1・2後		2								兼1 授業運営上の理由により未開講 (29)
			英語演習1	1・2前 1・2前後		2								兼5 兼4 兼1 授業運営上の理由による担当者変更、担当者追加 (29) 授業運営上の理由による開講時期の変更、担当者追加 (28)
			英語演習2	1・2後 1・2前後		2								兼5 兼1 授業運営上の理由による開講時期の変更、担当者追加 (28)
			英語演習3	2・3前		2								兼4 兼1 授業運営上の理由による担当者変更、担当者追加 (29)
			英語演習4	2・3後		2								兼4 兼1 授業運営上の理由による担当者変更、担当者追加 (29)
			英語表現1	1・2・3前後		2								兼2 兼3 授業運営上の理由による担当者変更 (28)
			英語表現2	1・2・3後		2								兼3 兼2 授業運営上の理由による担当者追加 (28)
			英語表現3	2・3前		2								兼2
			総合英語A	3・4前		2								兼1
			総合英語B	3・4後		2								兼1
			総合英語C	3・4後		2								兼1
			中国語入門1	1・2・3前後		2								兼2
			中国語入門2	1・2・3前 1・2・3後		2								兼1 授業運営上の理由による開講時期の変更 (28)
	フランス語入門1	1・2・3前後		2								兼5 兼4 兼2 授業運営上の理由による担当者追加 (29) 授業運営上の理由による担当者追加 (28)		
フランス語入門2	1・2・3前 1・2・3後		2								兼1 授業運営上の理由による開講時期の変更 (28)			
韓国語入門1	1・2・3前		2								兼1 兼2 兼1 授業運営上の理由による担当者変更 (29) 授業運営上の理由による担当者追加 (28)			
韓国語入門2	1・2・3後		2								兼1			
海外短期語学研修	1・2・3・4後(集) 1・2・3・4前		1								兼1 集中 授業運営上の理由による開講時期の変更 (28)			
留 学 生 科 目		日本語演習1	1前		2								兼1	
		日本語演習2	1後		2								兼1	
		日本語演習3	2前		2								兼1	
		日本語演習4	2後		2								兼1	
		総合日本語	3・4前		2								兼1	
教 養 科 目	人 間 の 理 解	総合講座「日本人論」	未開講 1・2・3・4後		2								兼3 授業運営上の理由により未開講 (29) 共同	
		日本の文学	1・2・3・4後 1・2・3・4前		2								兼1 授業運営上の理由による開講時期の変更 (29)	
		人間と宗教	1・2・3・4後		2								兼1	
		比較宗教思想史	1・2・3・4前		2			1						
		哲学	1・2・3・4前後 1・2・3・4前		2								兼1 授業運営上の理由による開講時期の変更 (28)	
		心理学	1・2・3・4前後		2								兼1 兼2 兼1 授業運営上の理由による担当者変更 (29) 授業運営上の理由による担当者変更、担当者追加 (28)	
		民族学	1・2・3・4前		2								兼1	
		比較文化論	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2								兼1 授業運営上の理由による開講時期の変更 (28)	
		考古学	1・2・3・4後 1・2・3・4前		2								兼1 授業運営上の理由による開講時期の変更 (28)	
		身体論	1・2・3・4前(集)		2								兼1 集中	
		20世紀の芸術	1・2・3・4後		2								兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
現代社会と国際理解	日本国憲法	1・2・3・4後		2								兼1	授業運営上の理由による担当者変更(29) 授業運営上の理由による開講時期の変更、担当者追加(28)	
	国際協力と日本	1・2・3・4後 1・2・3・4前		2								兼2 兼1		
	国際理解教育	1・2・3・4後		2								兼1		
	人権と社会	1・2・3・4後		2								兼1		
	現代倫理	1・2・3・4前		2								兼1		
	社会学概論	1・2・3・4前後 1・2・3・4前		2								兼2 兼1		授業運営上の理由による開講時期の変更、担当者追加(29)
	多文化共生社会	1・2・3・4後		2								兼1		
	日本の社会福祉	1・2・3・4後		2								兼1		
	女性学・男性学	1・2・3・4前		2								兼1		
	経済入門	1・2・3・4前後 1・2・3・4前		2					1			兼1		授業運営上の理由による開講時期の変更、担当者追加(28)
メディア・リテラシー	1・2・3・4後		2									兼1		
日本史概説	1・2・3・4前		2									兼1		
外国史概説	1・2・3・4後		2									兼1		
情報と職業	1・2・3・4後		2									兼1		
科学技術と環境の理解	生命と科学	1・2・3・4後		2									兼2 兼1	授業運営上の理由による担当者追加(29)
	環境と科学	1・2・3・4後		2									兼1	
	暮らしの科学	1・2・3・4前後 1・2・3・4前		2					1				兼1	授業運営上の理由による開講時期及び担当者変更(28)
	物質と科学	1・2・3・4前		2									兼1	
	現代科学論	1・2・3・4前		2									兼3	ホエハス
地域の文化理解	大阪の風土と文化	1・2・3・4後		2									兼1	
	京都の文化と芸術	1・2・3・4前		2									兼1	
	地域理解	1・2・3・4前		2									兼2 兼1	授業運営上の理由による担当者追加(29)
子どもと社会	子どもと文化	1・2・3・4後		2									兼2 兼1	授業運営上の理由による担当者追加(29)
	子どもの成長とコミュニティ	1・2・3・4後 未開講 1・2・3・4後		2									兼1	通常開講(29) 授業運営上の理由により未開講(28)
健康とスポーツ	スポーツ演習1	1・2・3・4前後		2			1 2			1			兼2	授業運営上の理由による担当者変更(28)
	スポーツ演習2	1・2・3・4前後		2			1 2			1			兼2 兼3	授業運営上の理由による担当者変更(28)
	スポーツ演習3	1前後(集) 4後(集) 1・2・3・4前後(集)		2			1		1	1			兼2 兼2	授業運営上の理由による開講時期及び担当者変更(29) 授業運営上の理由による開講時期及び担当者変更(28) 集中
	健康科学	1・2・3・4前後 1・2・3・4後		2			1						兼1	授業運営上の理由による開講時期変更(28)
キャリア支援科目	キャリアデザイン1	1後		2			1		1				兼3 兼2	授業運営上の理由による担当者変更(29) 複数教員配置による担当者調整、授業運営上の理由による担当者追加(28)
	キャリアデザイン2	2前		2			1		1				兼3 兼1 兼2	授業運営上の理由による担当者変更及び追加(29) 教員組織充実のため兼担教員を専任教員に変更(28)
	キャリアデザイン3	2後		2			1		1				兼3 兼1 兼2	授業運営上の理由による担当者変更及び追加(29) 教員組織充実のため兼担教員を専任教員に変更(28)
	キャリアデザイン4	3前		2					1				兼2	
	キャリアデザイン5	3後		2					1				兼2	
	インターンシップ1	2前		2			1		1				兼1 兼2	教員組織充実のため兼担教員を専任教員に変更(29)
	インターンシップ2	3前		2					1				兼2	
	キャリア演習1	4前 2前後		2					1				兼3 兼2	授業運営上の理由による開講時期及び担当者追加(29) ホエハス
	キャリア演習2	未開講 2後・3前		2									兼1	授業運営上の理由により未開講(29)
	キャリア演習3	未開講 2・3後		2									兼2	授業運営上の理由により未開講(29) 集中 共同(一部)
演習部	基礎演習1	1前	2				2 1		2		1 2		兼1	授業運営上の理由による担当者追加(29) 授業運営上の理由による担当者追加(28)



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
科共通	基礎演習 2	1後	2			2 ±	2	1 2			兼1 授業運営上の理由による担当者追加 (29) 授業運営上の理由による担当者追加 (28)
学部基礎科目	マネジメント入門	1前	2								兼1
	マネジメントインフォメーション	1前後 1後	2								兼2 授業運営上の理由による開講時期及び担当者追加 (29) 兼1
	ビジネス会計 I	1・2前	2								兼2 授業運営上の理由による担当者追加 (29) 兼1
	ビジネス会計 II	1・2後	2								兼1 担当者就任辞退による担当者変更 (28) 兼2
	ICT基礎 I ICT基礎 II	1前 1後	2 2								兼1 兼1 兼1
学部基礎科目	ビジネスマネジメント	2・3前	2								兼1
	経営戦略論	2・3後	2								兼1
	マーケティング論	2・3前	2			1					兼1 授業運営上の理由による担当者変更 (29)
	組織とコミュニケーション	2・3前	2			1					兼1 授業運営上の理由による担当者変更 (29)
	サービスマネジメント	2・3後	2				±				兼1 担当者就任辞退、兼任教員に変更 (28)
	リスクマネジメント	2・3後	2								兼1
学部共通専門科目	ビジネス会計応用 I	1・2前 1前	2								兼1 授業運営上の理由による開講時期変更 (28)
	ビジネス会計応用 II	1・2後 1後	2								兼1 授業運営上の理由による開講時期変更 (28)
	流通論	2・3前	2			1 2 ±					兼1 授業運営上の理由による担当者変更 (29) 授業運営上の理由による担当者追加 (28)
	人事管理	2・3後	2			1					兼1 授業運営上の理由による担当者変更 (29)
	インターネットビジネス	2・3後	2				±				兼1 担当者就任辞退、兼任教員に変更 (28)
	ビジネスデータ分析	2・3後	2								兼1
	情報倫理	2・3前	2								兼1
	情報社会論	2・3後	2								兼1
	データベース活用	2・3前	2								兼1
	情報ネットワーク	2・3後	2								兼1
	マルチメディア	2・3前	2								兼1
	生産管理	3・4前	2								兼1
	社会貢献ビジネス	3・4後	2								兼1
	経営モデル分析	3・4前	2								兼1
	国際経営論	3・4前	2					1			兼1 教員組織充実のため兼任教員を専任教員に変更 (28)
	企業ネットワーク論	3・4前	2								兼1
	G I S 基礎	3・4前	2								兼1
	G I S 応用	3・4後	2								兼1
	プロジェクトマネジメント	3・4前	2								兼1
	情報セキュリティ	3・4前	2								兼1
	企業コンサルティング入門	3・4後	2			1					
スポーツマンシップ論	1前	2			1						
スポーツ栄養	3・4前	2								兼1	
学科別専門科目	スポーツマネジメント入門	2前	2					1			
	スポーツ産業論	1・2前	2	2		1					教育課程充実のため必修科目に変更 (28)
	スポーツファイナンス	1後 1・2後	2			1 2 ±					授業運営上の理由による担当者変更 (29) 授業運営上の理由による開講時期変更、担当者追加 (28)
専門基礎	スポーツマネジメント論	2・3後	2	2		1					教育課程充実のため必修科目に変更 (28)
	スポーツ社会学	2・3前	2					1			
	スポーツマーケティング	2・3後	2	2			±	1			兼1 授業運営上の理由による担当者変更 (29) 教育課程充実のため必修科目に変更 (28) 担当者就任辞退、兼任教員に変更 (28)
専門	スポーツスポンサーシップ	2・3後	2			1					
	スポーツ法学入門	2・3後	2								兼1
	スポーツ心理学	2・3後	2					1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
目 基 幹	スポーツトレーニング論	2・3前		2		±						兼1 授業運営上の理由による担当者変更 (29)
	スポーツキャリア論	2・3前		2				±				兼1 担当者退職による辞退、兼任教員に変更 (29)
専 科 展 開	スポーツメディア論	3・4前		2								兼1
	スポーツ施設イベントマネジメント	3・4後		2		1						兼1
	地域スポーツクラブマネジメント	3・4後		2								兼1
	スポーツファシリティマネジメント	3・4前		2			1					兼1
	スポーツツーリズム	3・4前		2					1			兼1
	スポーツ用具論	3・4前		2		1						兼1
専 科 キ ャ リ ア	スポーツビジネス特別講義	3・4後		2								兼1
	スポーツビジネスマネジメント実践	1後		2		1						兼1 授業運営上の理由による担当者追加 (28)
	スポーツビジネス体験 1	1後(集) 1後		2					1			兼1 集中 授業運営上の理由による開講時期変更、担当者就任辞退 (28)
	スポーツビジネス体験 2	2後		2		2			±			兼1 授業運営上の理由による担当者変更及び追加 (29)
	海外スポーツビジネス調査	2・3後		2		1			±			兼1 授業運営上の理由による担当者変更 (29)
	起業家実践	2・3・4後		2								兼1 授業運営上の理由による担当者追加 (28)
専 科 演 習	専門演習 1	2前		2		4 ±	1 ±	3 ±	2			専任教員1名退職による辞退、複数教員配置による担当者調整 (29) 専任教員1名就任辞退、教員組織充実のため専任教員2名追加 (28)
	専門演習 2	2後		2		4 ±	1 ±	3 ±	2			専任教員1名退職による辞退、複数教員配置による担当者調整 (29) 専任教員1名就任辞退、教員組織充実のため専任教員2名追加 (28)
	専門演習 3	3前		2		4 ±	2 ±	3 ±	2			専任教員1名就任辞退、教員組織充実のため専任教員2名追加 (28)
	専門演習 4	3後		2		4 ±	2 ±	3 ±	2			専任教員1名就任辞退、教員組織充実のため専任教員2名追加 (28)
	専門演習 5	4前		2		4 ±	2 ±	3 ±	2			専任教員1名就任辞退、教員組織充実のため専任教員2名追加 (28)
	専門演習 6	4後		4		4 ±	2 ±	3 ±	2			専任教員1名就任辞退、教員組織充実のため専任教員2名追加 (28)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
17	128	0	145	20 [3]	125 [Δ3]	0 [ 0 ]	145 [ 0 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	英語基礎1	2	1・2前	一般	選択	大学共通科目区分における開講の調整により、今年度は当該科目を未開講。(29)
2	英語基礎2	2	1・2後	一般	選択	大学共通科目区分における開講の調整により、今年度は当該科目を未開講。(29)
3	総合講座「日本人論」	2	1・2・3・4後	一般	選択	大学共通科目区分における開講の調整により、今年度は当該科目を未開講。(29)
4	キャリア演習2	2	2後・3前	一般	選択	大学共通科目区分における開講の調整により、今年度は当該科目を未開講。(29)
5	キャリア演習3	2	2・3後	一般	選択	大学共通科目区分における開講の調整により、今年度は当該科目を未開講。(29)
6	子どもの成長とコミュニティ	2	1・2・3・4	一般	選択	大学共通科目区分における開講の調整により、今年度は当該科目を未開講。(28)

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「英語基礎1」「英語基礎2」については他に開講する英語系科目10科目、「キャリア演習2」「キャリア演習3」については他に開講するキャリア関連科目、「総合講座『日本人論』」については他に開講する人間の理解に関する科目において、指導の充実やクラス数・担当教員増によって対応しており、学生の履修に支障が生じないように配慮している。特に、英語教育充実の観点から、ネイティブを含め3名の専任教員を学部で新規に採用し、「英語演習1」「英語演習2」「英語演習3」「英語演習4」の4科目を中心に配している。なお、学生に対しては4月の履修ガイダンス時に周知を図っている。(29)  
 大学共通科目区分において、他の科目を開講しているため、支障はない。学生へは4月の履修ガイダンス時に周知した。(28)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	=	0.04
設置時の計画の授業科目数の計		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	「専用」及び「共用する他の 学校等の専用」の「その他」 面積の変更は土地の購入。 「校舎敷地」の変更は使用目 的の変更によるもの(28) 大学全体(大阪成蹊短期大 学、びわこ成蹊スポーツ大学 と共用を含む) 「専用」は土地の購入、「共 用する他の学校等の専用」は びわこ成蹊スポーツ大学及び 大阪成蹊短期大学における土 地の使用用途変更及び土地の 購入のため(29)		
	校 舎 敷 地	6,360.24 5,708.37㎡	25,780.55㎡	51,992.94 50,299.06 50,490.06㎡	84,133.73 81,787.98 81,978.98㎡			
	運 動 場 用 地	0㎡	73,520.01㎡	81,761.77 79,482.00㎡	155,281.78 153,002.01㎡			
	小 計	6,360.24 5,708.37㎡	99,300.56㎡	133,754.71 129,781.06 129,972.06㎡	239,415.51 234,789.99 234,980.99㎡			
	そ の 他	647.70 0㎡	594.52㎡	15,802.11 15,019.28 3,807.28㎡	17,044.33 16,261.50 4,401.80㎡			
	合 計	7,007.94 6,356.07 5,708.37㎡	99,895.08㎡	149,556.82 144,800.34 133,779.34㎡	256,459.84 251,051.49 239,382.79㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	教室の利用用途の見直し及び 校舎の増築及び教室等の改築 を行ったため(28) 大学全体(大阪成蹊短期大学 と共用を含む)		
		13,197.42 12,415.47㎡	20,506.39 20,532.04㎡	4,109.71 4,348.39㎡	37,813.52 37,295.90㎡			
		13,197.42 (12,415.47㎡)	20,506.39 (20,532.04㎡)	4,109.71 (4,348.39㎡)	37,813.52 (37,295.90㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	教室の利用用途の見直し及び 校舎の増築及び教室等の改築 を行ったため(28) 大学全体		
	15 室	34 32 室	47 室	11 10 (補助職員 -人)	1 -0-室 (補助職員 -人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	マネジメント学部 スポーツマネジメント学科			12 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分(大阪成 蹊大学との共用) 図書及び視聴覚資料は、新規 購入による(28) 図書及び電子ジャーナルは、 新規購入による(29)
	スポーツマネジ メント学科	304,978 [38,5152] 302,968 [38,430] 291,391 [33,631] (304,978 [38,5152]) (302,968 [38,430]) (291,391 [33,631])	2,540 [390]	7,907 [7,907] 257 [257]	3,105 3,093 (3,105) (3,093)	3,449 (3,449)	34 (34)	
	計	304,978 [38,5152] 302,968 [38,430] 291,391 [33,631] (304,978 [38,5152]) (302,968 [38,430]) (291,391 [33,631])	2,540 [390]	7,907 [7,907] 257 [257]	3,105 3,093 (3,105) (3,093)	3,449 (3,449)	34 (34)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		利便性向上のため図書館の事 務室を館内へ移動(28) 図書収納スペースを拡張した ため(29)	
	2,060.08 1,625.74 1,757.74 m <sup>2</sup>		180		310,000 303,564			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	2,357.27 m <sup>2</sup>		該 当 な し					
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	360千円	360千円	図書購入費	3,116千円	3,116千円	3,116千円
	共同研究費等	4,000千円	4,000千円	設備購入費	4,000千円	4,000千円	4,000千円	
	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,222千円	972千円	972千円	972千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、私立大学等経常費補助金収入等をもって充当する。						

(注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、

複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	大阪成蹊大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
マネジメント学部									
マネジメント学科	4	90	-	560	学士 (経営学)	1.03	平成15年度	大阪府大阪市東淀川区相川3丁目10番62号	
スポーツマネジメント学科	4	90	-	180	学士 (経営学)	1.22	平成28年度	同上	
芸術学部									
造形芸術学科	4	177	-	561	学士 (芸術)	1.02	平成18年度	同上	
情報デザイン学科	4	-	-	-	学士 (芸術)	-	平成18年度	同上	平成27年より学生募集停止
環境デザイン学科	4	-	-	-	学士 (芸術)	-	平成18年度	同上	平成27年より学生募集停止
教育学部									
教育学科	4	120	3年次10	480	学士 (教育学)	1.07	平成26年度	同上	
大学の名称	びわこ成蹊スポーツ大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
スポーツ学研究科									
スポーツ学専攻	2	10	-	20	修士 (スポーツ学)	0.60	平成24年度	滋賀県大津市北比良1204番地	
スポーツ学部									
スポーツ学科	4	360	-	1,000	学士 (スポーツ学)	1.10	平成27年度	同上	
生涯スポーツ学科	-	-	-	-	学士 (スポーツ学)	-	平成15年度	同上	平成27年より学生募集停止
競技スポーツ学科	-	-	-	-	学士 (スポーツ学)	-	平成15年度	同上	平成27年より学生募集停止
大学の名称	大阪成蹊短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
総合生活学科	2	-	-	-	短期大学士 (生活デザイン) (食物) (栄養)	-	昭和26年度	大阪府大阪市東淀川区相川3丁目10番62号	平成28年より学生募集停止
幼児教育学科	2	300	-	600	短期大学士 (幼児教育)	0.97	昭和31年度	同上	
観光学科	2	90	-	180	短期大学士 (観光)	1.05	昭和42年度	同上	
グローバルコミュニケーション学科	2	30	-	60	短期大学士 (グローバルコミュニケーション)	0.99	平成15年度	同上	
経営会計学科	2	50	-	100	短期大学士 (経営会計)	1.03	平成15年度	同上	
生活デザイン学科	2	50	-	100	短期大学士 (生活デザイン)	1.09	平成28年度	同上	
調理・製菓学科	2	120	-	240	短期大学士 (調理・製菓)	1.09	平成28年度	同上	
栄養学科	2	120	-	240	短期大学士 (栄養)	0.98	平成28年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。



## 5 教員組織の状況

個人情報を含む内容につき、掲載しておりません。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (27年4月)	<p>学科別専門科目のうち、スポーツ産業に関する科目が選択科目になっているが、設置の趣旨に合致した人材養成を行うために、必修科目にする必要はないか検討し、必要であれば必修科目に改めること。</p>	留意事項	<p>学科別専門科目のうち、スポーツ産業に関する科目として、専門基礎科目の「スポーツ産業論」、専門基幹科目の「スポーツマネジメント論」と「スポーツマーケティング」の3科目を必修とし、学科の人材養成上必要な基礎を確実に身につけられるよう改めた。(28)</p>
	<p>専門キャリア科目の「スポーツビジネス体験1・2」及び「海外スポーツビジネス調査」は、企業や団体等の協力の下で行うものと思われるが、具体的な協力企業・団体や講義内容が不明確である。そのため、授業を実施するまでの間に、授業が問題なく実施できるよう準備を万全に行うこと。</p>	留意事項	<p>専門キャリア科目の「スポーツビジネス体験1」「スポーツビジネス体験2」「海外スポーツビジネス調査」について、具体的な連携先及び講義内容を明確にし、授業の準備を万全にしている。(28)</p>
設置計画履行状況 調 査 時	【該当なし】		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<マネジメント学部 スポーツマネジメント学科>

### (1) 設置計画変更事項等 【該当なし】

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

大阪成蹊大学では、学部毎にFD委員会を設け、教員の資質の維持向上に努めている。スポーツマネジメント学科のFD活動については、従来学部で実施している内容を踏襲することとなる。委員会は、学部長が委員長となり、各学科の学科長及び各学科から選出した委員により構成している。

(なお、その他に本学では、全学的な教学改革を推進することを目的とする教学改革会議を開催しているが(平成28年度実績:全15回開催、理事長・総長、学長、副学長、学部長、学科長、コース主任等の専任教員、高等教育研究所研究員及び幹部職員等で構成)、アドミッション・ポリシーと入試方法の整合、シラパスの一層の充実、アクティブラーニングの推進、適切な成績評価の実施など16のプロジェクトを立ち上げ、教学改革を推進する中で、各プロジェクトが主導的に教員の資質を高める研修を開催している)

##### b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

平成28年度のFD委員会の開催状況は以下の通りである。

5月12日開催(参加状況 100%)

##### c 委員会の審議事項等

FD研修計画の策定

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

FD研修として以下の研修を実施し、教員の資質の維持向上を図った。

- ・教学改革の方針説明、3つのポリシーの共有 平成28年5月19日 (31名出席/32名 出席率97%)
- ・教学改革プロジェクトの概要と実施計画説明 平成28年7月21日 (29名出席/32名 出席率90%)
- ・教学改革プロジェクトから進捗報告 平成28年11月10日 (30名出席/32名 出席率94%)
- ・シラパス作成に関する留意点、アクティブラーニング推進とシラパス 平成28年12月22日 (30名出席/32名 出席率94%)
- (その他)
- ・授業研究会『責任ある研究活動』研究倫理映像教材「The Lab」を用いての講演会 平成28年5月24日
- ・授業評価アンケートの実施 平成28年7月14日～27日、平成29年1月6日～23日の前後期1回ずつ実施
- ・教員相互の授業見学 前期 平成28年4月7日～7月27日 後期 平成28年9月26日～平成29年1月27日

##### b 実施方法

上記取組みは、FD委員会および教学改革会議、大阪成蹊学園に設置する高等教育研究所及び教務課等との連携を図り実施している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

前述の通り、前期・後期それぞれでFD研修及び教員の資質の維持向上に係る取組みを実施した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各期末に、担当授業ごと、各教員は授業改善計画書を学長に提出するほか、シラバス作成に伴いアクティブラーニング実施計画を個々の教員が作成することとしているが、FD研修や授業評価アンケートの実施結果、教員相互の授業参観における授業改善への気づき、教学改革会議において推進されている改革の趣旨・内容等を踏まえながら改善計画を立案しており、各教員が個々の授業の省察と改善に取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成28年7月14日～27日、平成29年1月6日～23日の前後期1回ずつ実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員に対しては、授業評価アンケートの結果をフィードバックするとともに、全授業において授業改善計画書の提出を課している。また、学生に対しては、授業評価アンケートの結果を冊子化し、図書館に配架し公表することとしている。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>スポーツマネジメント学科は、現代の社会・経済・経営・情報環境の下で求められる「スポーツ産業に係るビジネスとマネジメントに関する基礎的能力とスキル」及び「コミュニケーションに関する基礎的能力とスキル」を備え、スポーツ産業における現代の多様な経営課題の解決に貢献できる人材を育成することを設置の目的としている。</p> <p>初年度は、「大学での学びとキャリアを考える」「日本語コミュニケーション」「情報リテラシー」等、大学生に必要なアカデミックスキルや、社会人としても求められるリテラシーを身につける大学共通基礎科目のほか、幅広い教養を身につけるための教養科目を開講している。また「マネジメント入門」「ビジネス会計」等の学部共通専門科目や「スポーツ産業論」「スポーツファイナンス」等の学科別専門科目を通じて、スポーツマネジメントの基礎を身につけることのできる科目を開講している。入学前教育や、新入生宿泊研修等、4年間を通して学び合う仲間として学生が互いの理解を深めながら、大学での学びを円滑にスタートできるようなプログラムも実施している。2年目は、経営の基礎・基幹を養う科目の開講、「スポーツマネジメント論」「スポーツマーケティング」などスポーツビジネスの基幹を養う必修科目の開講のほか、卒業論文作成に向けて、卒業まで連続して開講しゼミ指導を行う「専門演習」科目を開講し、基礎から基幹への移行を円滑にできるよう設置計画に沿った科目の開講と指導体制の充実を図ることができている。</p> <p>なお本年度の開講においても、学生にとってより分かりやすいシラバスの作成や養成する人材像ごとの履修モデルの作成を行い、教育内容や履修システムを学生に対して適切に示すことで、教育効果の向上を図っている。また、各教員が、学生一人ひとりの学修状況や授業への出席状況、進路希望の状況などを把握・共有し、助言・指導を行う体制を整えている。今後も、教育効果を一層高めることができるよう、教育内容や教育体制の一層の充実を図っていく所存である。</p>
<p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成29年8月1日 公表予定</li></ul> <p>b 公表方法</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自己点検・評価報告書を刊行し、関連所属協会等に配布予定</li><li>・大学ホームページ上に公開予定</li></ul>
<p>③ 認証評価を受ける計画</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成29年度に評価機関（公益財団法人 日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で準備中</li></ul>

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 )</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成 29年 8月 1日 )</p>
---

○大阪成蹊大学マネジメント学部ファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会  
規程

平成21年1月15日  
制定

(趣旨)

第1条 この規程は、大阪成蹊大学教授会規程(平成15年4月1日)第4条第2項の規定に基づき、大阪成蹊大学マネジメント学部に、本学の教学理念に沿った教育活動を向上させるファカルティ・ディベロップメント(以下、「FD」という)の推進を図るため、ファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会(以下、「委員会」という)を置く。

(任務)

第2条 委員会は、次に掲げる活動を行う。

- (1) FDを推進するための施策の検討と実施に関すること
- (2) FDに係わる資料・情報の収集と学内広報に関すること
- (3) FDに係わる調査・研究に関すること
- (4) 授業評価に関すること
- (5) 教育課程編成・実施の方針に関すること
- (6) FDに係わる報告書等の作成に関すること
- (7) 教育活動優秀教員の表彰に関すること
- (8) FDに係わる職員の職能開発(スタッフ・ディベロップメント [SD] )との連携に関すること
- (9) FDに係わって学長から諮問があった事項に関すること
- (10) その他FDに関すること

(構成)

第3条 委員会は、次に掲げる委員で組織する。

- (1) 学部長
- (2) 学科長
- (3) 教務委員会委員長
- (4) 学部長が推薦した者 若干名
- (5) 教務部長

2 前項第4号の委員は、学長が総長の了解を得た上で委嘱する。

(委員長等)

第4条 委員会に委員長を置き、学長が総長の了解を得た上で指名した者とする。

2 委員会には副委員長を置き、学長が総長の了解を得た上で指名した者とする。

(任期)

第5条 第3条第4号の委員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

2 前項が定める委員以外の委員の任期は、当該役職もしくは委員の在任期間とする。

3 委員に欠員が生じたときは、これを補充する。ただし、その場合の任期は前任者の残存期間とする。

(運営)

第6条 委員会は委員長が招集し、議事を進行する。

2 委員会は構成員の過半数の出席によって成立し、その議決は、出席委員の過半数をもって決する。可否同数のときは、委員長の決めるところによる。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その任務を代行する。

(委員以外の出席)

第7条 委員会は、必要に応じて委員以外の者を出席させることができる。

(事務)

第8条 委員会の事務は、教務部教務課において処理する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関わる必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(平成22年3月23日)

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則(平成23年3月24日)

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則(平成24年2月23日)

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成28年4月21日)

この規程は、平成28年4月21日から施行する。



